

東京外かく環状道路(関越～東名)【R3年2月】陥没・空洞事象を受けた説明の場

1. 説明内容

- ・ 調査結果、補償の方針、再発防止の基本方針について

2. 説明対象

- ・ 陥没・空洞箇所周辺にお住まいの方々

3. 来場者数

2/14(日)の状況

日時	会場	来場者数
2月14日(日)13:00～14:40	調布市立第四中学校	101名
2月14日(日)15:30～17:25		62名
2月15日(月)18:30～20:00		44名
合計		207名



4. 主な質問や意見

- ・ 補償についての期限、スケジュールを教えてください。
- ・ 補償に伴う付帯費用(転居費用など)も対応してもらえるのか。
- ・ 補償することは施工ミス、瑕疵を認めているということでは。責任の主体はどこにあるのか。
- ・ 夜間掘進停止しなければ今回のような事象は発生しなかったのではないか。
- ・ なぜ陥没地点と同様の地層条件のボーリングデータを使わなかったのか。
- ・ 事前調査が十分だったのか、という視点が不足しているのではないか。
- ・ 騒音、振動に関する対策方法を教えてください。再発防止策に含めるべき。
- ・ 今後北行のシールドが掘進した際、何らかの影響が出てくるのではないか。再発防止は同様に行うのか。
- ・ 地盤の補修期間が2年とあるが、丸々2年工事現場になるのか。どういった工事を進めていくのか。